

地域再生計画（道整備交付金）事後評価調査

都道府県名	愛媛県	事業実施主体	松山市	地域再生計画名	「坂の上の雲」のまち松山 安全・安心のみちづくり整備計画
計画期間	平成21年度～平成25年度	評価責任者	松山市道路建設課		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度	H20	年度	中間実績	基準年度	最終実績			
											310ha
目標1	森林へのアクセス向上による林業の効率化等により、市内において1年間に実施する間伐実施面積を拡大する。	250ha	H20				310ha	H26	308ha	○	林道整備により森林へのアクセスが容易になり森林の間伐実施面積の拡大が図られ、概ね目標の達成ができた。
目標2	林業における生産性の向上により、市内における松山木材市売場への年間出荷量を増加させる。	800㎡	H19				1,100㎡	H26	3,737㎡	○	林道整備により森林施業実施面積の拡大による生産性の向上及び効率化が図られ、木材の年間出荷量の増加の目標値を達成できた。
目標3	緊急車両の速やかな通行等のため、交通障害箇所を平成25年度までに3箇所解消する。	0箇所	H20				3箇所	H26	3箇所	○	市道整備により、市内各所の交通障害箇所を拡幅整備し、目標値を達成できた。
目標4	通学児童の安全・安心の確保のため、通学路の要整備箇所を平成25年度までに9箇所解消する。	0箇所	H20				9箇所	H26	9箇所	○	市道整備により、市内各所の通学路で歩道整備や拡幅整備を行い、目標値を達成できた。

②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1										
	指標2										

③事業の進捗状況	事業名	整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価
		計画	中間年度(H)	最終実績	
特別措置を適用して行う事業	市道整備事業	6.0km		6.70km	市道整備により、地域住民や来街者の安全・安心な交通環境が整備できた。
	林道整備事業	2.5km		2.03km	林道整備により、今まで森林施業が困難であった地域についてアクセスが可能となり、間伐実施面積の拡大が図られ、さらには木材市売場への年間出荷量増加等の効果があった。
その他の事業	生活道路整備事業	生活道路について、地域住民の意見を取り入れ、地域の事情やニーズに応じた道路整備を市単独事業により実施。			特別措置を適用して行う事業以外にも地域住民から要望を受けた生活道路の整備を進めることにより、交通障害箇所の解消や通学路の安全確保を進めた。
	スペシャルドラマ「坂の上の雲」魅力創出事業	TVドラマの放映にあわせ、観光客の誘致促進を図る「まつやまエポック」を計画的に実施するとともに、「坂の上の雲」にちなんだ各種イベントを実施。			主な施策として国際街フェア（松山ロシア・ハラショー！）や市街劇人力飛行機ソロモン・松山篇を開催するなど、「坂の上の雲」にちなんだ地域資源を活かしたイベントを開催し、松山市のPR・情報発信をすするとともに、気運の醸成を図った。
	フィールドミュージアム活動支援事業	市全体を屋根のない一つの博物館ととらえ回遊性の高い物語のあるまちを目指す「『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想」の具現化に向け、官民協働によるまちづくりを実施。			平成11年度から作家司馬遼太郎の小説を題材とした「『坂の上の雲』を軸とした21世紀のまちづくり」に取り組んでおり、「『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想」を推進している。フィールドミュージアム活動支援事業は、小説ゆかりの史跡や歴史的・文化的資源等の利活用に取り組み市民団体等の活動を支援することを通して、「『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想」の具現化を図った。
	農林水産業の振興	後継者や定年帰農者等を対象とした研修会等による担い手の育成、農産物のブランド化及び本市特産ホームページ等での照会による消費拡大を図ること等により、本市の農林水産業の振興及び地域経済の活性化を図った。			多様な担い手（認定農業者、新規就農者、女性、高齢者等）それぞれのレベルに合わせた担い手育成研修事業を実施し、農業経営の安定や農業所得の向上を図ることで地域農業の維持発展に欠くことのできない人材の確保を図った。また、まつやま農林水産物ブランド認定品のトップセールス、百貨店でのPR活動や、育成品のブランド化に向けた取り組み支援などにより認知度向上、流通拡大が販売促進に努め、消費拡大に繋げるなど農林水産業の活性化を図った。
	水源かん養機整備の推進	水源かん養機能等、森林の持つ様々な公益的機能をより高度に発揮させるため、苗木購入費の一部を助成する取り組みや造林事業等を実施。			造林事業等を実施したことにより、森林整備の促進に繋がりと、水源かん養機能等、森林の持つ様々な公益的機能をより高度に発揮させることが出来た。さらに、今回の林道整備により、今後の森林施業の合理化、効率化を図ることに繋がった。

④評価方法	各事業担当課にて評価・検討を行い、結果を決定した。
-------	---------------------------

⑤事後評価の公表方法	松山市ホームページに掲載
------------	--------------

⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、「『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想」に基づくサブセンターゾーンを中心に市道と林道の整備を実施し、市道整備では市内各所の道路拡幅、歩道整備、舗装補修により安全・安心な道路環境の整備を進めるとともに、林道整備では間伐実施面積、木材出荷量ともに増加し、林業振興に資した。
------------	--

⑦今後の方針等	本地域再生計画に基づき市道、林道ともに整備を進めたが、課題となる箇所も残っており、引き続き整備を行っていきたい。
---------	--